

◇東ト協壮年部五代日本部長

品川支部 竹ノ内 実〔(株)タケウチ〕

アメリカの金融不安により始まった株価の暴落、自動車会社ビックスリーの経営破綻、そしてEU諸国、中国と世界的な金融不安が地球を震撼させている。当然日本の景気後退は余儀なくされ、来年の経済的不況はかつて無い未曾有のスパイラルに落ち込むと予想されていて、経営環境がますます厳しい社会状況であります。

その様な環境下において、「事故」や「重大ミス」などが連続して発生すれば、会社の存続に関わる大問題に発展していく可能性が十分考えられます。

ではどのように「事故」や「重大ミス」を防止するか、危機管理を如何に社内重要視し、日々「安全」を維持していく事に鋭意努力すべきであるか。

当然、個々の会社「安全」に関して一つの「基準」を定める必要があります、そして「安全基準」を周知徹底させ、自らがその重要性に気付くことが基本だと思います。

そこで社内における「安全基準」を考えますと、やはり人命の尊重が第一であり、労災事故防止に尽きると考えました。

例えば配送作業において、お客様の商品を目的位置へ移動する作業を前提条件とした場合、第一に「取る、つかむ、持ち上げる」、第二に「動かし、運び」、第三に「目的位置へ置く」という一連の動作が発生致します。

その中で予想される「事故」や「重大ミス」による災害を考えますと墜落・転落・飛来・落下・挟まれなど多くの危険が作業の中に潜んでいます。

それ故、作業開始前の朝礼などで、作業に於ける安全対策を教育する事が如何に重要な事であるか、ドライバーの一人一人が真剣に声を張り上げ危険予知を提唱し、潜んでいる危険を自覚し、注意することが、労災事故防止に対する「安全基準」と考えます。

配送作業における災害発生の留意点を考えると、交通事故防止に重点を置いてしまいますが、荷下ろし作業において、多くの災害が発生するケースが多いと想定されます。

そして、人力作業にて物を扱う場合、その「置き方、取り方、動かし方」に分けて考えると、置き方は、「出し入れがしやすいように、場所、高さ、幅、長さ、配列、種類、数量などを考えて決める」そしてもっとも重要なことは「安全に置く」事です。

また取り方は、「一定の場所から順に取る、取った後が整然としている事」さらに動かし方は、「できるだけ動かす回数を少なくし、距離を短くする事」と「共同作業のときは、相手と体位や調子を合わせる事」が「安全基準」であります。

それでは如何に「安全基準」を周知徹底させるかは、作業手順を作業員全員に周知させる事がポイントであります。

不幸にして「安全基準」が達成されず災害や事故が発生した場合は、再発防止に全力投球しなければなりません。

先ず発生した事故の原因や要因は何なのか、どこを改善すれば事故防止できるかの分析、そしてどのような対策を実施するのか、他社で事故防止効果を上げている具体的な安全対策の取り組みなどの情報収集など、一丸となって対策を講じていくことが「安全基準」の維持に於いて必要な事であります。

これから繁忙期を迎え、関係各所の皆様方の「無事故」をお祈りいたしまして「ご安全に」の合い言葉で終了させていただきます。

《百文字のひろば》

新宿支部 壮年部長 岩崎 晴彦〔(有)エイチ・アイ・ユー〕

事業用トラックの駐車規制緩和の働きかけをやってほしい。違反防止のために助手をつけるなど実に非経済的で、日本の物流を担う運転手がコンビニや公園のトイレにも行けないなど、ヒステリックな世相の一因となる規制である。

◇ロジ研壮年部長随想リレー

千代田支部壮年部長 渋谷 隆義〔(株)ユニコム〕

私は神田の生まれではありません。しかしながら今は町会の役員として、どっぷり地元には浸っています。これも、たまたま先代がこの地で事業を興した関係もありますが、トラック協会始め法人会や警察関係を通して友人が増えた影響だと思います。町会のほとんどの人は地元生まれの地元育ちで良きにつけ悪きにつけ「江戸っ子」を粋がっています(まあ千代田支部の面々も同様です) そんな訳で私も「偽江戸っ子」として活動しているところです。

さて来年の5月は2年に1度の神田祭りです。まだ半年以上も先の話なのに町会ではもう寄附集めはどうの! 神輿はどうの! と喧々ごうごうとしております。来年の一同の新年会は大変だろうなど「偽江戸っ子」としては静観しているところです。でもそんな楽しい仲間に出会えたことに感謝! そして千代田支部の一員になれたことにも感謝!

◇第2回セミナー(10/27)の感想

研修副委員長 山田 正信〔足立支部(株)森田商運〕

第1回のセミナーに引き続き「安心と安全の実現」をテーマとして中尾講師の講義を執り行いました。藤倉研修委員長の急な発熱の為、急遽、司会の代役を勤めさせて頂いた事もあり、私自身は普段よりも講義に集中できたように思います。

前回のアンケートを元にした回答、解説を中心に「安心と安全の実現」を実行する為には、まず自分の会社が確実な経営、営業を執り行っているのかと言う事を具体的な数式により改めて考えさせられる内容になっていたとともに、現在の状況下ではタイムリーなセミナーの内容ではなかったかと思えます。

景気が良い時には井筒定期的な経営でもある意味数量が稼げてしまう為、問題視しなくてもその場で通り過ぎてしまうが、現在の様な不景気の入り口に入った場合には、ディフェンシブな経営が求められ、数字に裏打ちされた営業を実践しなければ経営が行き詰ってしまう・・・と、解っていても実行しそうな無い私には大変有意義なセミナーでした。



講師の中尾氏

《百文字のひろば》

台東支部 壮年部長 柴崎 光章〔(株)シバサキ〕

毎年、紅葉を見に京都を訪れている。山々の紅葉ではなく、庭園を彩るその様は息を呑む美しさである。特に東福寺が素晴らしい。通天橋からの眺めと、開山堂庭園の市松の砂紋が趣を添える。世相の悪い昨今であるが、京都に行くと本当に気持ちが落ち着く。他にもお勧めが沢山あるので、是非京都のガイドブックを手に旅情を誘って頂きたい。

◇お知らせ 《行事予定》

○12/ 3(水) 16:00～ 正副本部長会議 東ト協 6小

17:00～ 臨時総会 同 6中

18:00～ 忘年会 「アンジュ」歌舞伎町 2-28-15

○ 1/14(水) 17:00～ 正副本部長会議

○ 2/ 4(水) 17:30～ 三組織セミナー・新年会(新宿京王プラザ H)

○ 本年度のセミナー(第1回～第3回)ではMG(マネーゲーム)を使った会計を勉強し、大変好評でした。ついては、フォローアップ研修(1日)を計画しております。セミナーに参加されなかった方にもご参加いただけるプログラムです。近日ご案内予定です。